

# 関東アコーディオン演奏交流会

第34回  
準備会号

## 実行委員会ニュース



2022.4.1発行  
編集 広報部

ホームページ <http://www.kanto-acco.jp>

QRコード

# 開催日 **9月11日**（日）に決定！

会場：北区滝野川会館

昨年度はコロナウイルス感染防止対策上「独奏」部門を開催いたしました。  
会場の遵守事項は、今年も3月時点での条件は昨年と同じですが、「重奏、バンド/  
アンサンブル、合奏」部門の開催に向けた対応を検討しています。



### 目次

- 議事録より…2～5P
- 「音楽センター南部教室2021年度修了演奏会」を聴いて…6P
- ふれあいこんさあと ビバ・アコより…7P
- 東北アコジャンよりお知らせ…8～9P
- エツィオ・ギバウド アコーディオン・オンライン公開レッスン…10P
- ホワイトボード…11～12P

## <3月の実行委員会議事録より>

(2022年3月6日) (Zoom会議)

参加者：池田 宇野 岡田 小神 織田 乙津 佐々木 築山

### 1. 実行委員の近況報告

□アンサンブル小川 (織田さん)

・9月の関東アコには出場する方向で、当初予定していたチャイコフスキーの「エレジー」で出るか、いま選曲中です。

・アンサンブル小川の中の「プチ・マルカート」は一度解散したけれども、子どもや老人ホーム向けに楽しい曲、絵本の読み聞かせとかパネルシアターを織り込みながら続けて行こうということで、「プチマル」というグループを継続することになった。早速、2月17日に私の勤務している幼稚園で、久しぶりに年少、年中、年長と分けてそれぞれ30分ずつ公演してきました。

□音セ・金曜教室、ともしび (宇野さん)

・音楽センター金曜教室は、今日、音楽センターの「グレードテスト」と「オーディション」があり、私はVI課に挑戦してきました。ちなみに、VI課のグレードテストの課題は、スケールが「FMのスケールとカデンツ」で、課題曲は「マイバレンタイン」です。自由曲は「愛のあいさつ」を弾きました。

審査員との距離が近くて、目が合ったりするので緊張しました。今年もコロナウイルス感染防止対策のため3曲続けて演奏し、演奏後は帰宅するよう指示があったので、他の人の演奏は聴かずに帰りました。金曜教室からは3人が受けました。合奏は清村先生編曲の「木星」を練習しています。

・「ともしび」の方は、4月10日(日)「歌声喫茶ともしび in 板橋」に友情出演します。演奏する合奏曲やうたごえで良く歌われる曲の前奏、間奏、後奏をきちんと弾けるようにする練習を重ねています。会場は板橋区立グリーンホール(1F)です。まだまだ席に余裕があります (^ ^♪ ※関連記事12ページホワイトボード

□音セ・南部教室 (乙津)

・音楽センター南部教室は19日(土)午後2時開催で2021年度修了演奏会を開催します。小指の骨を骨折して休んでいた方も先日ギプスを外したら弾けそうなので、独奏だけでも参加したいので自宅で練習始めたと報告があった。※関連記事13ページ

□池田さん・・・アンサンブル小川は、織田さんの報告の通りで9月に向け相談に乗って選曲中です。他はまだお休み状態です。

□東京アコ研（岡田さん）

・アコ研は、特に変化はなく3月20日（日）の内部発表会に向けて皆さん頑張って練習しています。内部発表会の会場は音楽センターを借ります。4月は練習会場が取れたので週1回の練習は確保できました。

・個人的なことですが、私は2月、犬の散歩で左小指の中手骨を折りました。孫を預かっているため手術は無理なので、シーネで固定する治療を選択。

「3月20日にアコーディオンを弾きたい」と医者に見せたところ、「どうやって弾くの？」と聞かれ、エアアコの身振りで説明すると医者は真顔で「あなたはプロなの？」と「いえいえ、お婆さんの趣味です（笑）」と答えたら、「手術をしないと、小指が少し短くなりますが、いいですね」と念を押されました。今は全くアコを弾けていません。みなさんも気を付けてください。

□三AC、アンサンブル小川（築山さん）

・三ACは来週3月19日土曜日に練習ではないけれどメンバーとZoomで会います。「1カ月に1回は会って近況を話そうね」ということで顔を合わせます。

・私もアンサンブル小川のメンバーなので、先程話のあった4月10日には久しぶりにアンサンブル小川の練習に行きたいと思います。

・別件では、2月に「ともしび」のうたごえ喫茶が近くであって、たまたま仕事が休みに当たっていたので久しぶりに、たみ子さんのアコーディオン伴奏で歌ってきました。休憩を挟んで1部、2部、3部とあって、みんなマスクして歌っているんですけど、3部になってやっと声が出てきた。声帯も使っていないと声が出ないんだなあと思いました。

□55（ゴーゴー）アコ（佐々木さん）

・55アコは今年から活動再開して、細々とですがみんな元気にやっています。「集まるのはいいね」というのがそれぞれの感想です。関先生も大変喜んでくれて、稲葉先生のソロレッスンも来月から再開の予定です。

□音セ・土曜教室（小神さん）

・土曜教室は、きょう音楽センターのグレード試験に、まだ1～2年の人が（Ⅱ課だったと思う）出たのと、あとオーディションにも出て入賞したようですね。みんなでおめでとうというラインが入っていました。

## 2.議題より抜粋

築山（司会）・・・3月1日（火）滝野川会館にて9月利用の抽選会に参加し、

第2 希望だった9月11日（日）を押さえることができたと報告。

※開催日が決まったことから、出場者募集に向けて活動を始めます。

#### ① 募集要項「参加のお誘い」の検討

・お誘い文は、例年実行委員長が作成する原案を皆で読み合わせしているため、今年度も同様に進める。

・昨年は独奏だったので、今年度はアンサンブルの年を目指す。

・今年度は「第34回」となる。

・3月1日会場押さえに際し、会館側から、感染症対策についての遵守事項が配られたが昨年と同じです。「検温の要請」「消毒」「マスクの着用」「ソーシャルディスタンスを守る」「水分補給以外、飲食の禁止」など、そのため審査結果発表の仕方等の対応を次回検討する。

・舞台上に乗れる人数についても、ソーシャルディスタンスの観点から、器楽演奏の場合、舞台上ではお互いの距離を2メートル空けるように言われている。アンサンブルや合奏では、ピアノ、ドラムス、など他の楽器が入るところもあると思われるので、募集要項の中でどのように告知するのが良いか要項発送までに検討する。（ホームページから舞台図を取り込んで割り出してみる）

・結果によっては合奏の人数制限が必要になるかもしれない。

#### ② 参加費について

・従来、重奏、バンド/アンサンブルは1人3,500円。合奏は1人2,500円。今年度も前回と同じ金額で良いか。

・出場者の人数制限があると、財政上は厳しいかもしれないけれど、今年度はやむを得ないのではないかと。

#### ③ 募集要項「参加のお誘い」発送時期について

・昨年は、6月の発送になったけれども、従来通り5月（連休中を目安に発送していた）発送に戻したほうが良いと思う。

#### ④ 申込締め切り日について

・例年、「7月31日締め切り」としていただけれども、今年は開催日が9月11日と早いので、2週間ぐらい早くしないと締め切り後の進行表作成作業などが厳しくなるのではないだろうか。

・郵送での申し込みも受け付けるので、土・日の集配が無くなることも考慮しないといけない。

- ・次回実行委員会に申込締め切りは7月24日（日）で提案することに。
- ・楽譜の提出締め切りも、同様に少しはやめて8月20日（土）で提案する。

⑤ 審査事務局との打ち合わせについて

- ・募集要項「参加のお誘い」は、4月の実行委員会で決定する必要があるのですが、審査事務局の先生方も実行委員会に参加できるように日程、時間調整をする。

⑥ シール投票について

- ・アンサンブルの年に、何回か続いた「シール投票」（ロビーに拡大したプログラムを掲示しておき、来場者に入場時渡しておいたシールを聴いた演奏の中から気に入った演奏団体の枠に貼っていく）これは、あれば楽しいし、和やかにする利点はあるけれども、来場者、出場者が最後まで聴くのは難しいと思われるので今年度はなくていいのではないかと。

⑦ 申込受付後の返信メールについて

- ・ホームページの申込みホームから申し込んだ方には受け付けたお知らせを自動返信する形を作る。その際、返信メールに参加料金の金額と振込先を載せられると良い。

⑧ 実行委員会体制について

- ・「第34回関東アコ」は4月の実行委員会から第1回実行委員会が始まる。なので、4月のZoom会議から昨年同様に拡大実行委員会として動いていきたい。
- ・Zoom会議で行うのであれば、遠くからでも参加もしやすいと思うので、昨年並みに拡大実行委員会としてみたらどうか。
- ・実行委員以外のサークルや教室からの参加があり広がりが出てきたことで大いに助けられた。
- ・今日は実行委員長が欠席なので、組織については次回再度確認する。

■お詫びと訂正

第33回6号（2022年1月31日発行）の7ページ、サークル紹介「Ne! 風琴」の記事に間違いがありました。

「青春」の作曲者「じぬしみちお」さん。とあるのは、正:「じぬしみきお」さん。の誤りでした。

お詫びし訂正いたします。

